

ART CUBE

鑑賞用補助教材



「アート・キューブ」は2005年に福島県立美術館と郡山市立美術館によって開発されました。この教材は「タッチキューブ」「版画キューブ」「おみくじキューブ」「絵画キューブ」「素材キューブⅠ」「カラーキューブ」「人形キューブ」「感覚キューブ」「プレイキューブ」という9個の立方体がセットになっており、作品の素材や造形要素、制作工程への関心を促したり、作品から得られる印象や感動を言葉や身振りで表現させたり、多角的な鑑賞が楽しめるよう工夫されています。どこの美術館でも気軽に使用できる汎用性や簡便性、子どもたちの美術に対する興味・関心を喚起する遊戯性があり、開発以来、学校・クラス単位での団体見学に、キッズレクチャーにと活躍してきました。今回、「色材キューブ」「型どりキューブ」「素材キューブⅡ」の3キューブが新たに加わり、さらにパワーアップ。子どもたちが「見て・触れて・感じて・考えて」、より美術に親しむための一助となれば幸いです。

■詳しい貸し出し方法については各美術館にお問い合わせ下さい。

福島県立美術館

福島市森合字西養山1番地 TEL.024・531・5511

郡山市立美術館

郡山市安原町字大谷地 130-2 TEL.024・956・2200





人形キューブ

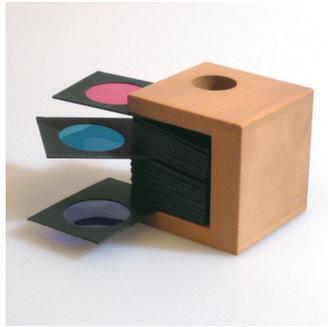
人物の「ポーズ（姿勢）」をテーマに、身長約12cmの木製のモデル人形を収めたキューブです。各関節の可動が自在で、思い通りのポーズをつくることができます。



タッチキューブ

このキューブのテーマは「筆の種類とタッチ（筆致）」です。中には様々な筆などが収められ、表面にはタッチの作例が貼られています。筆の質感の違いやタッチの効果について学ぶことができます。

カラーキューブ
「色」をテーマに、カラーフィルターを積み重ねたキューブです。それぞれのフィルター越しに作品を見て印象の違いを感じたり、フィルターを重ねることで混色について学ぶことができます。



絵画キューブ
このキューブのテーマは「絵具とマチエール（画肌）」です。表面には4種類の代表的な技法の絵画が貼られ、中には絵具の原料となる「顔料」と各種「メディウム」が収められています。



素材キューブ I

このキューブのテーマは作品の「素材（もともになる材料）」です。表面には平面作品を代表する4種類の布や紙が貼られ、中には立体作品を代表する8種類の素材が収められています。



おみくじキューブ

キューブの中に入っている20本の棒にはさまざまな形容詞が記されています。形容詞をヒントに作品に対する印象や感情を導くことができます。

版画キューブ
このキューブのテーマは「版画の種類と工程」です。表面には各版形式（凸版、凹版、平版、孔版）を代表する4種類の原版が貼られ、中には道具の一部が収められています。



感覚キューブ
このキューブは、視覚、臭覚、味覚、聴覚、触覚などのイメージをきっかけに、作品から受けた印象や感想を意識したり表現するための教材です。



プレイキューブ

このキューブは、ゲーム感覚で作品に親しみ、想像力をはたらかせながら作品を鑑賞したり、鑑賞者同士のコミュニケーションを図るための教材です。



色材キューブ

中には絵具の原料である「顔料・染料」のもとになる植物、動物、鉱物、金属化合物が4種類収められています。側面には、それぞれの顔料や染料で彩られた布が貼られています。

素材キューブ II
素材キューブ I とはまた別種の、彫刻・工芸作品の素材8種類が収められています。側面には、4種類の布や革が貼られています。



型どりキューブ
彫刻制作の工程で用いられる「型」を模したキューブです。中に石膏を流しこんで簡単な作品制作を体験できます。

